

2023年3月期 通期 決算説明会資料



2023年6月16日

株式会社昭文社ホールディングス

証券コード: 9475

資料の内容

- | | | |
|---|----------------------|--------|
| 1 | 2023年3月期 通期 連結決算概要 | P3-11 |
| 2 | 2024年3月期 通期 連結業績の見通し | P12-14 |
| 3 | 参考資料 | P15-16 |

【本資料の記載数値・内容について】
百万円未満は切り捨てております。
%表示は小数第1位未満を四捨五入しております。

【本資料の内容についてのお問い合わせ先】
株式会社昭文社ホールディングス 取締役管理本部長 加藤 弘之
電話 03(3556)8171

資料の内容

1 2023年3月期 通期 連結決算概要

2 2024年3月期 通期 連結業績の見通し

3 参考資料

2023年3月期 通期 連結決算概要

新型コロナウイルス感染症による制限緩和などの影響を受け、市販出版物などの売上が増加。減損損失等を特別損失として計上したものの、前年に計上した特別損失の規模はなかったため、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅に増加。

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	増減額	増減率	2023年3月期 (通期予想)	増減額
売上高	4,619	5,553	933	20.2%	5,710	-156
営業利益	-1,407	132	1,539	-	-90	222
(売上高比、以下同)	-30.5%	2.4%			-1.6%	
経常利益	-1,288	234	1,522	-	-70	304
	-27.9%	4.2%			-1.2%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,578	30	1,608	-	20	10
	-34.2%	0.5%			0.4%	
1株当たり当期純利益 (円)	-86.82	1.66	88.48	-	1.10	0

単位:百万円

※上記予想は2022年9月16日発表

2023年3月期 通期 セグメント別損益(前期比較)

メディア事業では市販出版物・広告・特別注文品の売上が回復し利益も大幅に改善。その他事業では、前年に連結子会社を売却したことにより、売上は大幅に減少。ソリューション事業では売上は増加したもののセグメント利益は減少。

(セグメント別)	2022年3月期通期実績		2023年3月期通期実績		増減額		増減率
	売上	利益	売上	利益	売上	利益	
メディア事業	3,028	-1,631	3,982	164	954	1,796	31.5%
ソリューション事業	1,644	0	1,722	-118	78	-118	4.8%
その他	217	-52	68	-9	-149	43	-68.4%
(セグメント取引額等調整額)	-271	277	-221	95	50	-181	-18.5%
合計	4,619	-1,407	5,553	132	933	1,539	20.2%

単位:百万円

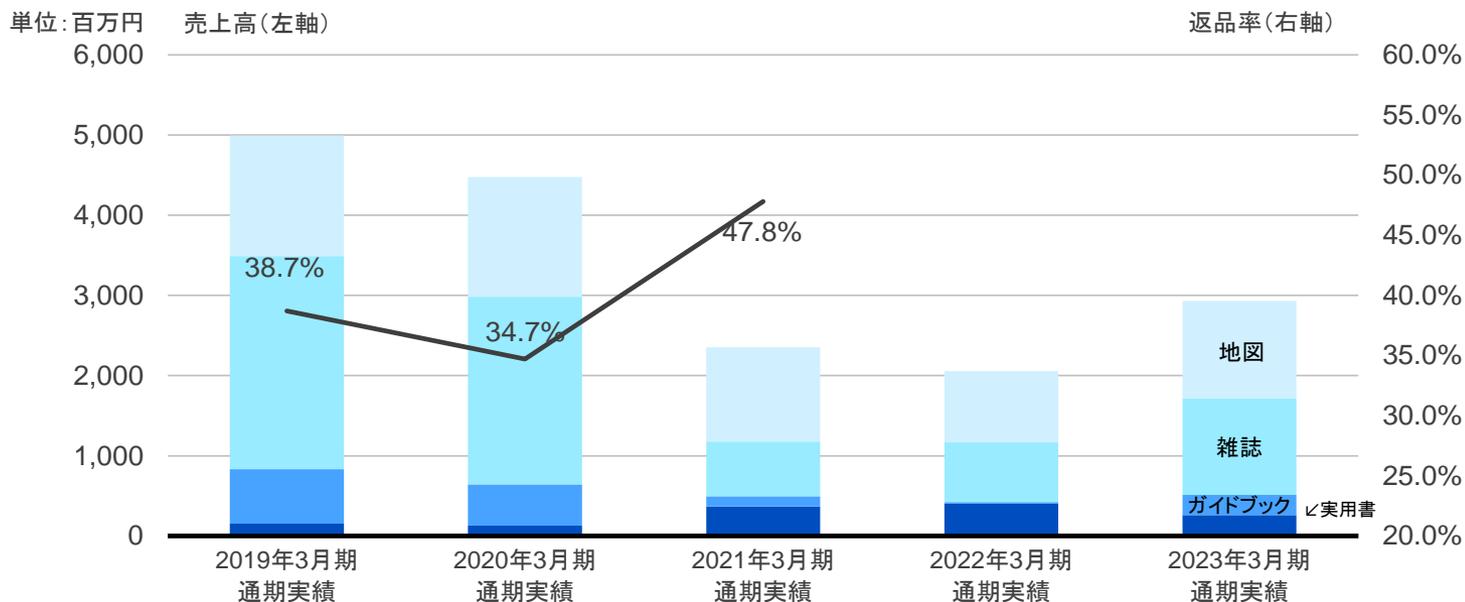
増減率

2023年3月期 通期 ハイライト

- メディア事業では、市販出版物において定番商品の改訂や実用書・児童書ジャンルも継続的に新商品を出版いたしました。
- ソリューション事業では、景気動向に左右されにくい官公庁からの受注獲得や民間法人向けストック型商材の契約更新に注力しつつ、ヘッドスプリング社と共同でEV充電スタンド、受託用住宅蓄電池の販売を開始いたしました。
- 2022年12月に東京商品センターを売却いたしました。
- 「まっふるマガジン」においてこれまでのAB判をB5変型判にした「トラベラーズサイズ」への刷新を柱としたリニューアルを行いました。
- サステナブル施策として、「まっふるマガジン」シリーズの用紙代の1%分を活用して森林育成を応援する「1%for Present Tree」スキームに参加いたしました。

2023年3月期 通期 市販出版物売上高の推移

地図・雑誌・ガイドが大幅に増加したことに伴いトータルでもプラス。



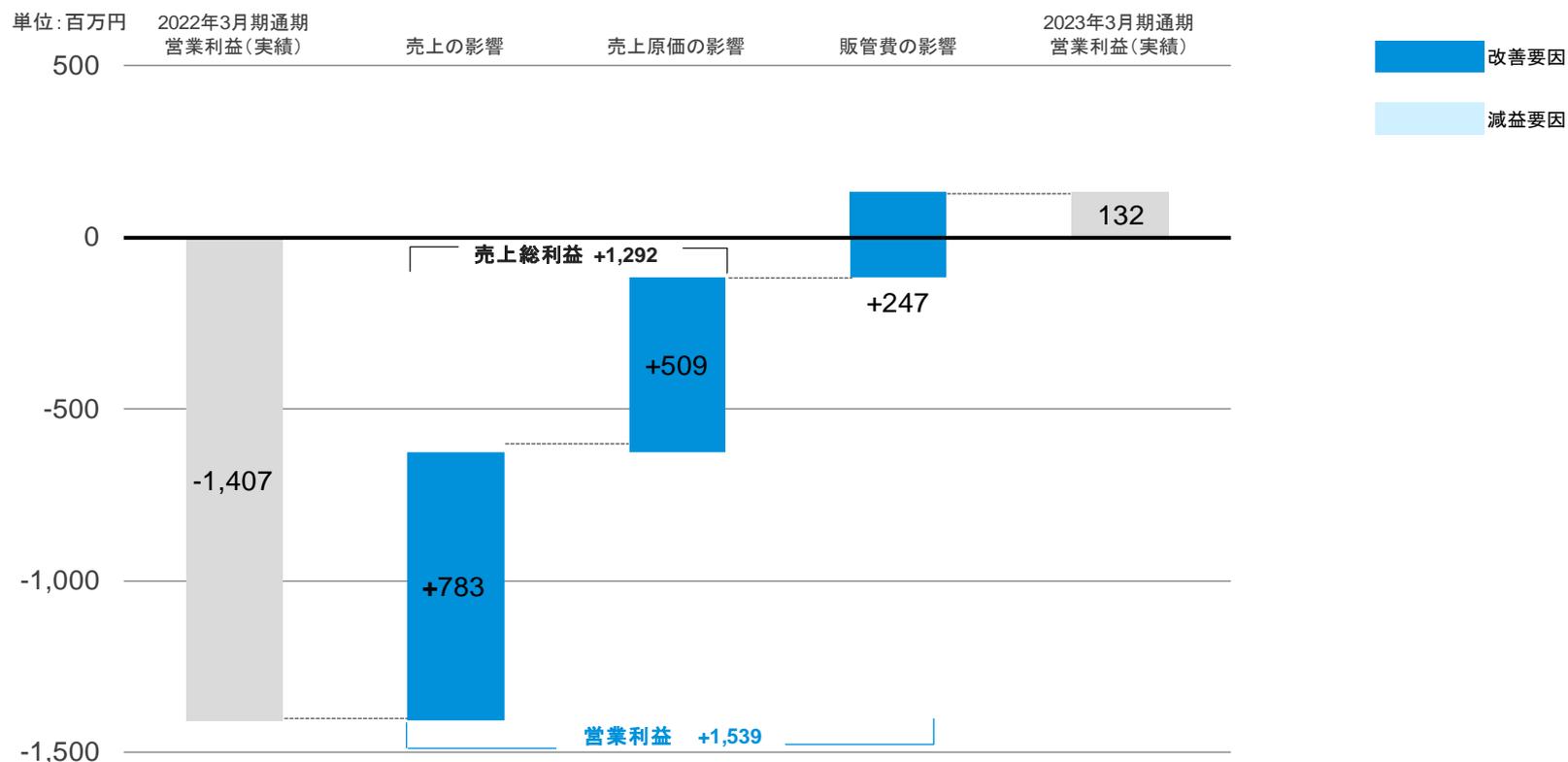
単位: 百万円

市販出版物売上高合計	4,992	4,478	2,354	2,058	2,934
地図	1,500	1,493	1,174	888	1,222
雑誌	2,658	2,339	681	746	1,199
ガイドブック	677	513	130	21	251
実用書	156	131	367	402	261
市販出版物返品率	38.7%	34.7%	47.8%	-	-

※2022年3月期より「収益認識会計基準」等を適用しているため、前年との比較整合性を確保する観点から、同期より返品率の記載を行っておりません。

2023年3月期 通期 営業損益の増減分析(前期比較)

売上が大幅に増加したことに加え、売上原価及び販管費が低減したことにより、営業利益は大幅に増加。



2023年3月期 通期 販管費・設備投資額・償却費の状況

販管費は前期に実施した子会社の早期退職制度の影響により減少。

単位:百万円

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	4,619	5,553	933	20.2%
販管費合計	2,144	1,897	-246	-11.5%
販売促進費	57	67	9	17.1%
広告宣伝費	9	12	2	21.3%
役員報酬	172	172	0	0.0%
従業員給与・賞与	815	684	-130	-16.0%
賞与引当金繰入額	116	97	-18	-15.9%
減価償却費	121	99	-22	-18.6%
研究開発費	0	6	5	1270.3%
その他	849	756	-92	-10.9%
設備投資額合計	178	154	-24	-13.7%
有形固定資産	79	9	-70	-88.5%
無形固定資産	99	145	45	45.9%
償却費合計	196	156	-40	-20.6%
有形固定資産	165	137	-28	-17.0%
無形固定資産	31	18	-12	-39.4%

2023年3月期 通期 連結貸借対照表

流動資産において売上高が増加したことに伴い現金及び預金、売掛金が増加。固定資産においては東京商品センターの売却に伴い建物及び構築物、土地が減少。

単位:百万円

	2022年3月期末		2023年3月期末		増減額	増減主要因
	実績	構成比	実績	構成比		
資産合計	15,250	100.0%	15,579	100.0%	328	
流動資産	6,682	43.8%	7,588	48.7%	905	現金及び預金、売掛金の増加
固定資産	8,568	56.2%	7,991	51.3%	-576	建物及び構築物、土地、投資有価証券の減少
負債合計	4,788	31.4%	5,065	32.5%	277	
流動負債	3,852	80.5%	4,080	80.5%	227	未払消費税、返金負債の増加 その他流動負債の減少
固定負債	936	19.5%	985	19.5%	49	
純資産合計	10,461	68.6%	10,513	67.5%	51	
株主資本	9,662	92.4%	9,692	92.2%	30	
その他の包括利益 累計額	799	7.6%	820	7.8%	21	
負債・純資産合計	15,250	100.0%	15,579	100.0%	328	

2023年3月期 通期 連結キャッシュ・フロー計算書

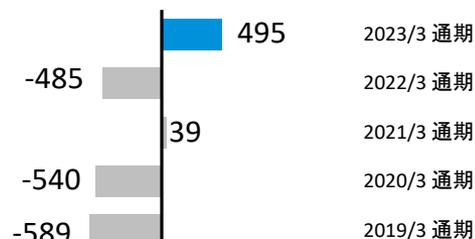
税金等調整前当期純利益が大幅改善したことにより営業キャッシュ・フローは大幅にプラス。

単位:百万円

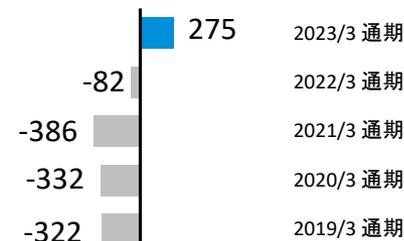
	2022年 3月期 通期実績	2023年 3月期 通期実績	増減額	増減主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	-485	495	981	税金等調整前当期純利益 +1,593百万円 売上債権の増減額 -495百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	-82	275	357	投資有価証券の取得による支出 +298百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	-1	-	1	
現金及び 現金同等物に係る 換算差額	-16	-	16	
現金及び 現金同等物の 増減額(－は減少)	-585	770	1,356	
連結除外に伴う 現金及び現金同等物 の減少額	-	-	73	
現金及び 現金同等物の 当期末残高	3,970	4,741	770	

キャッシュ・フロー 過去5年間推移 単位:百万円

営業活動によるキャッシュ・フロー



投資活動によるキャッシュ・フロー



財務活動によるキャッシュ・フロー



資料の内容

1 2023年3月期 通期 連結決算概要

2 2024年3月期 通期 連結業績の見通し

3 参考資料

2024年3月期 通期 連結業績の見通し(前期比較)

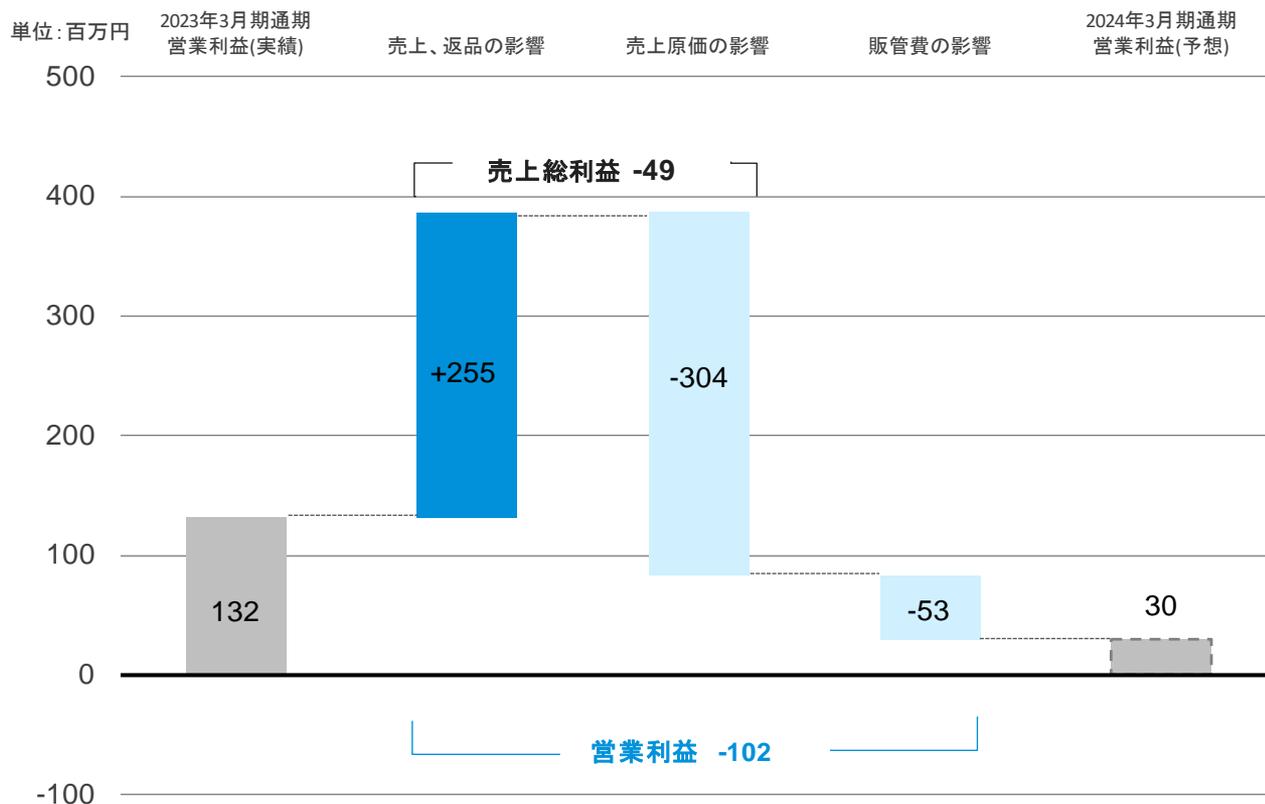
旅行需要の回復に伴い売上高は増加を見込むものの財務基盤をより盤石にする取り組みを引き続き行うことから親会社株主に帰属する当期純利益は減少を見込む。

	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	5,553	6,250	696	12.5%
営業利益 (売上高比、以下同)	132 2.4%	30 0.5%	-102	-77.3%
経常利益	234 4.2%	100 1.6%	-134	-57.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	30 0.5%	20 0.3%	-10	-33.6%
1株当たり当期純利益 (円)	1.66	1.10	-0.56	-33.7%

単位: 百万円

2024年3月期 通期 営業利益の増減分析(前期比較)

売上高の増加は見込むものの原材料の高騰などを受け売上原価が増加する見込みであることから営業利益減少を見込む。



資料の内容

- 1 2023年3月期 通期 連結決算概要
 - 2 2024年3月期 通期 連結業績の見通し
-
- 3 参考資料
-

当社グループ概要

当社グループは当社、連結子会社4社、持分法適用関連会社2社の計7社で構成。
(2023年3月31日現在)

当社	社名	株式会社昭文社ホールディングス	
	創業	1960年5月	
	設立	1964年6月	
	社員数	29人(2023年3月31日現在)	
	上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場	
	本社所在地	東京都千代田区麴町三丁目1番地	
	事業内容	グループ全体の経営戦略立案、企業価値向上および不動産事業、物流事業等を展開	
連結子会社	社名	株式会社昭文社	株式会社マップル
	事業内容	地図・旅行情報等を基にしたメディアの企画・編集・制作・販売、広告、特注品制作、 著作権(ブランド)使用許諾	地図・ガイド情報等を基にしたデジタルデータベースの企画・制作・販売・使用許諾及びそれらを活用したサービスの提供事業
	社名	株式会社マップル・オン	株式会社昭文社クリエイティブ
	事業内容	モバイル(携帯・スマートフォン)向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業	当社電子事業であるデータベースの企画・制作

注意事項

本資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えられますようお願いいたします。